

教育・保育提供区域の設定について

教育・保育提供区域の設定について、1区域または3区域（成東・山武・蓮沼+松尾）とした場合、次のような長所・短所があります。

		教育・保育提供区域の設定（案）	
		1区域	3区域
概要		市域全域を1区域とする	1成東、2山武、3蓮沼・松尾の3圏域とする
視点1	利用者にとってわかりやすく合理性のある区域設定であるか	◎市内全域とする1区域はわかりやすい ◎これまでの合併の経緯や施策展開との連続性の観点からも整合性がある	◎旧町単位に近いためなじみやすい (但し、区域設定を認識しなくても利用者にとっては何ら不都合は生じない)
視点2	利用者にとって利便性が高い区域設定であるか	▼従来どおりに市内全体をひとつの区域とする観点から施設・事業が整備されるため、区域設定効果としての利便性向上は見込まれない	○比較的狭い区域内に、当該区域内の需要に見合った施設・事業が整備されるため、利便性が高まる
視点3	区域を超えた施設・事業の利用に対して柔軟に対応できる区域設定であるか	◎利用者は従来どおりに区域を超えての利用を選択するケースが少なくないことが見込まれることなどから、利用実態に合った計画としやすい	▼区域を超えた施設・事業の利用がある程度発生することが想定されるなど、利用実態と合致しない部分が出てくるかもしれない。
視点4	一過性の需要に対して柔軟に対応できる区域設定であるか	◎一過性の需要（一時的なニーズの増大など）に対して、市内全体を受け皿として調整するなど、柔軟な対応が可能	▼区域内での一過性の需要に対して、隣接区域で供給余剰があった場合でも、当該区域内において供給体制を整備する必要があるなどの不合理が生じやすい
視点5	事業者が参入しやすい区域設定であるか	◎参入事業の運営・経営の観点から、市内全域（の需要）をマーケットとして捉えることができるため、事業者が参入しやすい、地域子ども子育て支援事業については市全体でとらえた方が提供体制を考えやすい。	▼事業者にとっては比較的狭い区域がマーケットとなるため、安定した需要確保などの面から、参入のインセンティブが低くなる恐れがある、地域子ども子育て支援事業については、区域ごとの提供体制を確保する必要がある。

◎長所 ▼短所